

精神障害をもつ人たちが 主体的に生きていくことができる 社会のしくみをつくりたい

私たちは地域で活動するさまざまな人たちと連携し
科学的に根拠のあるサービスの普及に貢献します



NPOコンボとは

NPO 法人地域精神保健福祉機構 (コンボ) は、平成 19 年 2 月にスタートした特定非営利活動法人 (NPO 法人) です。英語名=COmmunity Mental Health & welfare Bonding Organization の頭文字をとって、通称“COMHBO” (コンボ) と称しています。私たちは「精神障害をもつ人たちが主体的に生きていくことができる社会のしくみをつくる」ことを団体設立の目標として、そのために、地域で活動するさまざまな人たちと連携し、科学的に根拠のあるサービスの普及に貢献することをめざしています。

3つの使命

1

**精神障害をもつ人たちが
やその家族等、当事者の
視点を活動の中心に
すえる**

医療・福祉などさまざまな現場において、当事者は受け身の立場におかれがちです。私たちは、当事者が主体的に生きていくことができる環境づくりをめざすにあたって、当事者の視点を活動の中心にすえます。

2

**科学的な根拠に基づく
精神保健医療福祉サー
ビスの、普及活動を進
め**

精神障害者や家族は、科学的な根拠があり質の保証されたサービスを受ける権利があります。私たちは情報提供と技術支援を積極的に行ない、サービスの普及と社会の意識変革と実施システムの構築に貢献します。

3

**志を同じくする人や団
体が有機的に連携し、
地域精神保健福祉の向
上をめざす**

さまざまな立場の人間の有機的な連携が可能であれば、より物事を多面的・総合的・創造的に考えることが可能となるでしょう。私たちは立場・職種・領域にとらわれない自由闊達な組織をめざしています。

役員・アドバイザーボード

理事

伊藤順一郎 (共同代表：独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所部長)
宇田川健 (共同代表)
大島 巖 (代表理事：日本社会事業大学教授)
桶谷 肇 (事務局長)
大野 裕 (独立行政法人国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター所長)
柏木 彰 (NPO法人横浜市精神障害者家族連合会・副理事長)
後藤雅博 (医療法人恵生会南浜病院院長)
西尾雅明 (東北福祉大学教授)
藤野英明 (横須賀市議会議員)
増川信浩 (WRAP ファシリテーター)
遊佐安一郎 (長谷川メンタルヘルス研究所所長)

監事
アドバイザーボード

寺尾直宏 (NPO 法人千葉県精神障害者家族会連合会・理事長)
高橋清久 (財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
大熊由紀子 (ジャーナリスト・国際医療福祉大学教授)
門屋充郎 (NPO 法人十勝障がい者支援センター理事長)
佐藤光源 (東北福祉大学大学院教授)
寺谷隆子 (山梨県立大学・教授/日本社会事業大学・客員教授)
樋口輝彦 (独立行政法人国立精神・神経医療研究センター総長)
チャールズ・ラップ (カンザス大学社会福祉学部)
フィリス・ソロモン (ペンシルバニア大学社会政策・社会実践学部・教授)



NPOコンボの事業



リカバリー全国フォーラムを毎年開催

● 「家族による家族学習会」普及事業の実施

家族同士で泣いたり笑ったりしながら学びあい語りあう「家族による家族学習会」は、知識と体験の共有・共感によって家族に勇気と力を与えます。

● 学校メンタルヘルス教育の普及事業

モデル授業の実施、学校ニーズ調査、インストラクター研修会などを開催しています。

● ホームページによる情報提供

再発防止ネットセミナーや家族支援のページなどホームページによる情報発信を行っています。コンボのメールマガジン「コンボお知らせメール便」を不定期に配信しています。ご希望の方は、ホームページから登録してください（無料）。

● 他団体との連携事業

- ① 日本精神障害者リハビリテーション学会「EBPツールキット普及事業」事務局
- ② NPO 全国精神障害者就労支援事業所連合会（旧・職親連合会）ラジオ番組「きっと元気+」の放送や研修会の実施等事務局業務の補助
- ③ 日本心理教育・家族教室ネットワーク家族心理教育ツールキットの普及活動
- ④ ACT 全国ネットワーク事務局業務

● 情報誌の発行

月刊メンタルヘルスマガジン「こころの元気+」の発行（毎日新聞東京本社版では、2010年4月から「こころの元気+」読者モデルのライフヒストリーを毎月1回連載中）

● 出版

家族心理教育テキスト標準版として定評のある「じょうずな対処 今日から明日へ」（家族版）や、「あせらず・のんびり・ゆっくりと」（当事者版）をはじめとした独自出版のほか、講談社やNHK厚生文化事業団とタイアップした書籍・DVDなども販売しています。

● ACT-IPS センター

ACT（包括型地域生活支援プログラム）の普及のため、研修会や立ち上げ支援活動を行っています。

● 保健福祉研究所

科学的根拠のあるプログラムの普及や政策提言につながる調査研究として、家族心理教育の普及活動や「精神障害者福祉サービスの現状把握と発展可能性に関する調査研究」などの研究事業や研修事業を行っています。

● リカバリー全国フォーラムの開催

世界的に注目されている「リカバリー」という考え方をテーマに、20以上の分科会と1,000人以上の参加者で毎年開催。

● こんぼ亭の開催

メンタルヘルスに関して毎回多彩なゲストを招いて、楽しくなるトークライブを開催しています。年に数回の開催です。



新刊本の編集・出版・販売



EBP実施・普及ツールキット日本語版（実践紹介DVD付）の発行・頒布・普及に協力します（セット12,000円・1巻2冊3,000円・総論のみ1冊1,000円）



「こころの元気+」を毎月ご自宅にお届け！ **賛助会員を募集しています**

お問合せ・お申込みはコンボまで！

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きていくことができる社会のしくみをつくる」。このことに賛同し、コンボとともに社会を変えたいと願う仲間を募集しています。賛助会員には「こころの元気+」を毎月ご自宅にお届けします。研修会などコンボ主催のイベントの参加費割引などもあります。

■ 賛助会員お申込みは…

電話・ファックス・ホームページ（約2週間で、雑誌と郵便振替用紙をCOMHBOという名称のみ記載した封筒でお届けします。）

■ お支払いについて

郵便局でお振り込み（郵便振替用紙を同封します）

1年間の会費
5,000円
（毎月1冊12回）
1か所にお届け

3人以上は
4,500円
（毎月1冊12回）
1か所にお届け

30人以上は
4,000円
（毎月1冊12回）
1か所にお届け

※会社・官公庁などで定期購読としてお申込みいただくこともできます。1年分12冊5,400円（送料・消費税込）